

## JA共済カップ

### OFA 第33回 沖縄県U-11 サッカー大会

#### 【大会要項】

- 1 主 旨 本大会は、JA共済の社会還元の一環として、子どもたちのスポーツ環境作りと健全育成を基盤にサッカー競技力の向上とフェアプレー精神を育む事を目的として行うものである。
- 2 主 催 (一社)沖縄県サッカー協会
- 3 主 管 (一社)沖縄県サッカー協会ジュニア委員会
- 4 後 援 沖縄県、(公財)沖縄県体育協会、うるま市、金武町、うるま市教育委員会  
うるま市体育協会、金武町教育委員会、国頭郡体育協会、うるま市サッカー協会
- 5 特別協賛 JA おきなわ、全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
- 6 大会期日 各地区代表:2019年11月24日(日)迄に各地区代表選出  
沖縄県大会:2019年12月7日(土)・8日(日)・14日(土)  
予 備 日:2019年12月15日(日)
- 7 大会会場 うるま市与那城陸上競技場、うるま市具志川多種目球技場、金武町フットボールセンター(人工芝)
- 8 参加資格 ①大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであり、選手は小学生5年生以下であること。  
②同一母体で複数チームの参加を認める。ただし各地区予選開始日以降の選手の組み替えは認めない。  
③参加する選手はスポーツ保険等に加入していること。
- 9 競技規則 ①2018/2019年度の(公財)日本サッカー協会競技規則(JFA8 人制サッカー競技規則)による。但し、以下の項目については、本大会用として定める。  
②チーム構成は監督1名、コーチ2名、選手20名以内とし、交代は12名までの自由な交代を適用する。(一度退いた競技者でも再出場でき、何回でも交代可能)  
交代要員はビブスを着用しなければならない。  
③フィールドサイズ:固定しない(縦60~68m、横40~50m程度)  
※但し、フィールドサイズは68×50mの大きさを推奨する  
ペナルティエリア:ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ12m  
その地点からゴールラインに直角12m  
ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ4m  
その地点からゴールラインに直角4m  
センターサークル:半径7m ペナルティマーク:8m  
ペナルティアーク:半径7m コーナーアーク:半径1m  
ゴールの大きさ:ゴールの内のり縦2.15m×横5mの少年用を使用し、丸型、角型  
簡易ゴールも可とする。  
④キックオフから直接相手ゴールに入った場合、得点は認められず、相手にゴールキックが与えられる。  
⑤すべての選手の交代はハーフウェーライン付近の交代ゾーンからの自由な交代とする。ただし、GKの交代手続きはアウトオブプレイ時に主審の許可を得ること。  
⑥競技者がGKを含め5人以下となった場合、そのチームは0-5の負けとする。ただし、その時点の得点差が5点以上あればその点差とする。

- 10 試合方法 ①各地区代表(島尻 8、那覇 11、宜野湾 3、沖縄市 6、浦添市 4、北中頭 7、北部 5、宮古 2、八重山 2)48 チームを 3 チーム毎の 16 パートに分け、各パート総当たりのリーグ戦を行い上位 1 チームが決勝トーナメントに進出する。リーグ戦の順位は、勝点(勝ち 3 点、引分け 1 点、負け 0 点)⇒得失点差⇒総得点数⇒当該チームの対戦結果⇒抽選の順により決定する。  
②プレー時間は予選リーグ 30 分間(前後半各 15 分)・決勝トーナメント 40 分間(前後半各 20 分)とし、試合の勝者を決定する方法は以下の通りとする。(勝敗が決定しない場合)  
【予選リーグ】前後半で勝敗が決しない場合は引き分けとする。  
【決勝トーナメント】前後半で勝敗が決しない場合は 1 分間のインターバルの後、PK戦(3 名ずつ)を行う。なお、準決勝戦および決勝戦は 10 分間の延長戦を行い、なおも勝敗が決しない場合はPK戦(3 名ずつ)を行い、3 名で勝敗が決しない場合はサドンデスを行う。  
③各チームは試合毎に背番号の記載された選手証一覧を本部に提示しなければならない。選手証のない選手は出場を認めない。  
④エントリー表は試合開始 30 分前までに本部へ提出する。更に決勝トーナメントからは審判団がユニフォームの確認ができるよう、FPとGKの正副のユニフォームを持参する。また、選手は試合開始の 15 分前に本部前に集合すること。
- 11 表彰 ①優勝、準優勝および 3 位・4 位までを表彰する。(3 位決定戦を行う)  
②優勝、準優勝チームは 2020 年 3 月 21 日～22 日に沖縄県で開催される KYFA 九州ジュニアサッカー(U-11)大会参加を義務付ける。尚、3 位、4 位のチームにおいても鹿児島県で開催される JR九州 CUP サッカーフェスティバルへの出場権利がジュニア員会より与えられる。  
③ベスト 8 チームは次年度の県リーグ(仮称)への参加を推薦する。
- 12 参加料 大会参加費 10,000 円  
所定の振込用紙にて、2019 年 12 月 4 日(水)までに振り込むこと。
- 13 代表者会議 2019 年 12 月 4 日(水)午後 8 時(沖縄市コザしんきんスタジアム内会議室)  
代表者会議に持参するもの:大会参加料振込用紙の写し、大会登録票、登録選手一覧  
ユニフォーム届出用紙、ユニフォームエントリー表
- 14 抽選 組み合わせは、本部(ジュニア委員会)抽選により決定する。
- 15 審判 ①審判は帯同審判制を採用し、指導者は大会運営の協力を義務付ける。審判は各チーム 2 名とし、うち 1 名は 3 級以上の審判を帯同すること。  
②審判は 3 人制を採用し、第 4 審判員を 1 名おく。  
③審判証を提示すること(写真がない場合は無効とする)  
④審判員は担当試合の 30 分前に審判ミーティングを実施すること。また、主審を行ったものは審判報告書を提出すること。  
⑤アディショナルタイムは表示しない。  
⑥負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場できるものは 2 名以内  
⑦グリーンカードを推奨する。
- 16 各地区代表 各地区代表チームを 2019 年 11 月 24 日(日)午後 6 時まで決定し、チーム名と順位を下記へ報告すること。  
【報告先】  
①(一社)沖縄県サッカー協会:  
・ FAX:098-996-4733 ・ E-mail:fa-okinawa@jfa.or.jp  
②北中頭地区担当:江田 守鉄

17 ユニフォーム

2018/2019年の(公財)日本サッカー協会競技規則ユニフォーム規定に準ずる。

- ①チームは色彩が異なり判別しやすい正・副2組のユニフォーム(GKもFPと異なる色彩の正・副2組)を準備し携行すること。
- ②主審によって対戦する両チームのユニフォームを決定する。
- ③選手番号は選手固有の登録番号をシャツの前面及び背面に付し、判別の明確な色彩及びサイズであること。シャツは通常審判が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。また、台地に貼付けた番号についてはシャツにしっかりと縫いつけ、はがれないようにすること。
- ④広告の入ったユニフォームは認めない。ただし所定の手続きを完了したものについてはその限りではない。また、各国代表のレプリカを着用する場合も代表のエムブレム(マーク)がある場合も同様である。
- ⑤PK戦においてFPがGKを行う場合、FPは他の競技者や審判員と区別された色で、その選手固有の番号が表示された服装を着用すること。ただし、例外としてGKの負傷退場などにより、緊急避難的にFPがGKに代わる場合については、他の競技者等と区別する色の服装であるならば、その選手固有の番号等の表示を義務付けるものではない(通常の試合時間内および延長戦も同様)

18 ベンチ

- ①ベンチ(エリア)には、チーム関係者(監督・コーチ・登録選手)以外は入れない。ベンチ入りしているエントリー選手は、フィールドでプレーしている色彩と異なるビブスやジャージ等を着用すること。(ビブスやジャージ等は色彩の異なるものを複数用意することが望ましい)
- ②チーム関係者以外(保護者・登録外選手・応援団)はベンチ(エリア)外で大会本部の定める場所、もしくは試合進行の妨げにならない場所で観戦すること。
- ③試合終了後は速やかにベンチ(エリア)を空けること。

19 懲罰規定

- ①警告・退場について、次の選手は次試合(1試合)に出場できない。ただし、退場処分になった場合、他の選手を補充し、常に8人でプレーできるものとする。
  - ・同一試合で警告を二度受けた選手および退場処分となった選手
  - ・大会期間中に累積警告が2枚に達した選手
- ②レッドカードでの退場選手に対しては、次の1試合を出場停止とし、それ以降の処置については大会規律・フェアプレー委員会と沖縄県サッカー協会ジュニア委員会で裁定する。

【大会規律・フェアプレー委員会】

- ジュニア委員長   ○ジュニア副委員長   ○ジュニア委員会審判部長
- 大会運営責任者   ○会場運営主任

20 移 籍

移籍については、各地区予選開始日までに登録完了している者は参加を認める。

21 その他

- ①指導者はいかなる場合でも、大会に参加する全ての関係者(審判、選手、運営、スタッフ等)にリスペクトを持つよう義務付ける。指導者の言動により、関係者・観客が不快な感情を持つことのないよう、良識のある言動を遵守し、大会の主旨に反する行為を行なわないこと。また、自チームの選手であっても、1人の人格を持った人間であることを強く意識し指導を行なうこと。上記が遵守されていないと審判、運営スタッフが判断した行為については、試合中に限らず、該当指導者へ警告を行なう。また、その内容によっては、ベンチからの退席指示、フェアプレー委員会による懲罰検討の対象となる。
- ②開会式は12月7日(土)午前8時30分から、うるま市運動公園内具志川陸上競技場にて全

チーム参加とし、選手はユニフォーム着用(ジャージ着用可)の上、プラカード(縦 20cm×横 50cm 程度)を持って午前 8 時 20 分までに整列すること。なお、雨天の際は同公園内の具志川体育館前ロビーにて行う。各チームから選手 3 名参加とする。

③閉会式は 12 月 14 日(土)決勝戦終了後、金武町フットボールセンターにて直ちに行う。ベスト 4 のチームは参加すること。(ジャージ着用可)

④準決勝、決勝戦では各試合の 60 分前に両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングを行う。

⑤悪天候(強風、大雨、雷雨等)により試合続行が不可能と判断された際には試合を停止し、天候が回復次第、残り時間を再開する。ただし、再試合が困難なときは抽選で勝敗(次戦進出チーム)を決定する。なお、落雷の危険性の有無に関する判断は大会本部が行うが、詳細は下記の通りとする。

#### 【試合開始前の判断と対応】

試合開始前に落雷の危険性があると判断した場合、大会本部は試合を開始せずに経過観察し、落雷の危険性がないと判断したら試合を開始する。

60 分以上経過しても天候が回復しない場合は大会本部が試合中止を決定する。当日中に勝敗を決定する必要がある場合は抽選を行うが、再試合が可能であれば実施する。

#### 【試合開始後の判断と対応】

試合開始後に落雷の危険性があると判断した場合、主審は試合を中断し経過観察する。再開の目処として雷が完全に鳴り止んでから 30 分状況を確認する。30 分間経過後も雷が鳴り止まない場合には大会本部(会場責任者)にて、中断を続行するのか、または試合再開するかの判断を行う。

中断の時間は最長 60 分間を限度とする。60 分経過後に試合が再開できない場合は中断した時点のスコアで勝敗を決定する。同点の場合、主審はコイントスで勝敗(次戦進出チーム)を決定する。

試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開始不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0-5 の負けとする。ただし、その時点の得点差が 5 点以上あればその点差とする。

⑥飲水について、主審の判断で飲水タイムを設けることができる。主審は飲水タイムの有無を試合開始前に両チームに通知する。前後半とも飲水により消費された時間は追加される。

⑦開会式で使用したプラカードは大会期間中、自チーム控え場所(テント等)に掲示して下さい。

⑧試合会場では他競技も実施されるため、駐車場が非常に混み合います。可能な限り乗り合いで来場するようお願いします。また、マイクロバス等の大型車両で来場するチームは各々で駐車場を確保してください。一般道での一時駐車も厳禁です。人や荷物の上げ下ろしなどは駐車場内で行うよう徹底してください。

⑨会場にはメディカルスタッフを配置し、体調不良や怪我などについて初期対応のみを行う。ただし事故及び事故対応について、メディカルスタッフは一切の責任を負わないものとする。

以上